

# 浦添10年ぶりV

## 男子興南は17連覇

### 新報旗高校ハンド

ハンドボールの第30回琉大大会予選(主催・県ハンドボール協会、琉球新報)

前半を那覇西に2点リードして折り返した浦添。後半は守備のファウルで2度の退場があり、1人少ない苦しい場面が続いた。

終盤21-18と3点リードの場面。守備の要として激しく当たってきた宮城美季が退場となった。アビスロも与え、ここから連続4失点で逆転を許した。

だが、「こういう場面も想定して、いつも練習している」と安里(主将)はチームに「焦りはなかった」と振り返る。足を動かして数的な不利をカバーし、すぐに同点に追いついた。

守備は高い位置から積極的に仕掛ける1-2-3の陣形。意識して前で止めに行った(宮城)。那覇西の1年生京

### ハイライト 浦添

イントロゲッター・上地涼奈にたびたび得点を許したが、前に出てプレッシャーをかけ、枠外に打つよう仕向けた。

浦添の攻撃の核となったのは翁長鈴。主力を温存した序盤2試合は応援に回り「試合に出ない人の気持ちも分かった」といい、準決勝、決勝と「一つ一つ大切にプレーした」。

終盤は1点を奪い合うシーソーゲームになったが、粘りの守りを見せた浦添が僅差で勝利。途中出場し、後半の活躍が光った宮本望美は「練習の成果が出せたかな」と胸を張った。

「九州でもディフェンスを徹底していく」と安里主将。次も守りを速攻につなげ、勝ちにいく考えだ。(宮本望美)

## 冷静守備、1点差でかわす



女子決勝 浦添-那覇西 ジャンプしてシュートを放つ浦添の翁長鈴=22日、八重瀬町東風平運動公園体育館 (花城太撮影)

浦	24	131	14	23	那覇西
興	南	36	112	15	13
コ	ザ	28	28	28	28

社は22日、八重瀬町東風平運動公園体育館で決勝を  
行い、男子は興南が36-28  
でコザを退け、17年連続26  
度目の優勝、女子は浦添が  
24-23で那覇西に勝ち、10  
年ぶり5度目の栄冠をつか  
んだ。  
男女の上位2校は全国出  
場を懸けた九州選抜大会  
(来年2月7-9日、大  
分に派遣される。

前半に大量点  
後半も振り切る  
興南  
○:男子は興南が貫禄勝  
ちした。前半から速い展開  
の攻撃でテンボ良く得点を  
重ね、25-13とコザに大き  
くりド。後半は差を詰め  
られたものの、そのまま振

り切った。  
攻撃の中心となった下地  
利輝、伊金豊博武、田里亮  
稀の3人は、全国総体王者  
となった今夏を経験。多彩  
なプレーでチームを引っ張  
った。

しかし終盤に流れをつか  
んだのはコザ。興南・黒島  
宣昭監督は、点差が開いた  
ことで選手の「集中力が切  
れ」と振り返る。主将の

下地も「守備でマークミス  
があった。守備も攻撃も雑  
になった」と話した。  
九州と、その先の全国を  
見据えるチームにとって課  
題もあった試合だったが、  
しっかり修正して次戦に臨  
むつもりだ。



男子決勝 興南-コザ 敵ディフェンスを割ってシュートを放つ興南・下地利輝